

問1 家が火事になったり、急に具合が悪くなって救急車を呼びたいときは、何番に電話をかければよいでしょうか。

1. 104番

2. 110番

3. 118番

4. 119番

問2 火が小さなうちに、火が広がるのを防ぐために使う、赤い筒の形をした道具を何といいますか。

1. スプリンクラー

2. 消火器

3. 避難はしご

4. 火災報知器

問3 大きな火災が起きて、一つの消防署だけでは足りない場合、消防署はどのような工夫をしますか。

1. 近所の消防署と協力して活動する

2. 市役所を新しく建てる

3. 警察に消火をお願いする

4. 火が消えるまで待つ

問4 台風や地震などの災害が起きたとき、警察官の最も大切な仕事の一つは何ですか。

1. 台風の通り道を予想してニュースで伝えること

2. 住民が安全に避難できるように誘導や助けをすること

3. 避難先で食べる食料をすべて準備すること

4. 家が壊れないように修理の計画を立てること

問5 警察は、事件が起きてから動くだけでなく、事件を未然に防ぐための活動も大切にしています。学校で子供たちに対して行われる、犯罪から身を守るための練習を何といいますか。

1. 注意喚起

2. パトロール

3. 交通安全教室

4. 防犯訓練

問6 警察官が、お年寄りの家などを直接たずねて、犯罪や事故にあわないように気をつけることを伝える活動を何といいますか。

1. 防犯訓練

2. パトロール

3. 交通安全運動

4. 巡回連絡（じゅんかいれんらく）

問7 警察官が、町の中を歩いたり車でまわったりして、事件が起きないように見守る活動のことを何といいますか。

1. 落とし物の届け出

2. 交通整理

3. パトロール

4. 聞き込み調査

問8 「こども110番の家」のような場所が、地域の防犯において大切な理由として、最も正しいものはどれですか。

1. 緊急時に逃げ込める避難場所となるため

2. 大人たちが子どもを監視するため

3. 子どもがおこづかいをもらうため

4. 地域の家をすべてお店にするため

問9 建物に「防火とびら」が設置されている一番の理由はどれですか。

1. 階段をのぼりおりする人の人数を数えるため

2. 火災の被害を最小限に抑え、避難する時間を守るため

3. 建物の見た目を重厚でかっこよくするため

4. ふだん使わない場所を物置として使うため

問10 火災が起きたときに、素早く現場へ駆けつけて消火活動や救助活動を行う施設はどれですか。

1. 市役所

2. 郵便局

3. 消防署

4. 警察署

問11 地域の人たちと一緒に「安全マップ」を作ることになったとき、マップの中にかき込む内容として正しいものはどれですか。

1. 自分たちだけが知っていればよい秘密の場所をかき込む

2. 危険な場所だけをくわしくかき込む

3. 安全な場所と危険な場所の両方をかき込む

4. 自分の家から学校までの道だけをかき込む

問12 道路のわきや上に取りつけられている、絵や文字を使って、ルールや危険を伝えるための板（看板）のような目印を何といいますか。

1. 交通ルール

2. 信号機

3. 安全パトロール

4. 道路標識

問13 警察が地域を巡回して、犯罪が起きないように見守る活動を何といいますか。

1. 注意喚起

2. 防犯訓練

3. 取り調べ

4. パトロール

問14 「こども110番の家」や「こども110番の店」は、どのような場所ですか。正しい説明を選びましょう。

1. 警察官がいつも立っていて、悪い人が来ないか見張っている場所

2. 地域の家や店が協力して、子どもが困ったときに助けてくれる場所

3. ケガをしたときに、お医者さんがすぐにちりょうしてくれる場所

4. だれでも自由に入って、ゲームや宿題をして遊べる場所

問15 建物の中で、火事が起きたことを音や光を使って周りの人に知らせるための設備を何といいますか。

1. 非常口

2. 避難はしご

3. 消火器

4. 火災報知設備

問16 夜や暗い道で自転車のライトをつけるのは、前をてらすことのほかに、どのような大切な理由がありますか。

1. スピードを出しやすくするため

2. まわりの虫を集めるため

3. 自分の自転車をかっこよく見せるため

4. 車や歩行者に自分の存在を知らせるため

問17 街で拾った財布を届け出たとき、交番の警察官が行う対応として適切なものはどれですか。

1. 持ち主の代わりに買い物へ行く

2. 落とした人の住所を教える

3. 拾った人の名前や住所などの手続きをする

4. その場で財布の中身を分ける